

### 隣組で勤勞動員をまもれ

十一月二十七日から十二月三日まで一週間、國民勤勞動員援護會(舊國民徵用援護會)に於て厚生省と共催、各者の後援、各種團體の協賛を得て、『米英擧推勤勞激勸援護運動』を展開いたします。就てはこの際、隣組の皆さまに、次のことを特にお願いいたします。

皆さまの隣組の中に、應徴士、女子挺身隊員、勤勞學徒、勤勞報國隊員をお持ちの方は、一層力強い蔭の力になつて、それから産業戦士の方々に對し、何の心配もなく勢一ぱい働いて頂けるやう努めて下さい。病氣でお休みの方があれば懸命に養生して貰つて一日も早く生産戦に歸られるやう勵まして頂きたい。

又隣組の中で、一家の支柱であつた方を應徴士として出された御家族、或は戦場で斃れ前線將兵に變らぬ尊い犠牲になられた應徴士の御遺族が御ありでしたら、それらの方々に對して隣組の真心をもつてお世話下され力を合せてガツシリ守つて頂きたい。

### 銀の回収

戦局の緊迫化と共に銀の軍需資材としての需要が激増し、之が供給確保は戦力増強に資するところが極めて甚大でありますので、短期間の内に民間に有るこの銀の回収を徹底的に圖るに共に此の際に是れ迄供出されなつてきた金に付ても同様回収の徹底を期することにいたしました。

#### ○回収物件

銀製の室内裝飾品、化粧品用品、裝身具、食器、喫煙具、文房具等其の他の銀製品、銀地金古銀貨、外國銀貨(但し偽品を除く)

#### ○回收方法

- 一、回収機關 社團法人中央物資活用協會
- 二、實施時期 十二月一日より十二月二十五日迄
- 三、買上價格
  - (1) 銀製品に付ては含有純銀量一匁に付三十五錢
  - (2) 銀地金又は純銀量一匁に付十七錢五厘五毛

(3) 金に付ては純金量一匁に付十四圓四十三錢七厘五毛

遣して一括賣却せしむることになつて居ります。

市町村吏員又は町内會長、部落會長等の立會の下に中央物資活用協會鑑定員又は同協會の囑託地方鑑定員(奈良縣時計眼鏡小賣統制組合員にして鑑定員にして同協會より囑託せられたる者)の鑑定(分析に依らざる方法)秤量に依つて即金買上げをします。

此場合買上代金を算出して供出者に對し代金支拂と同時に中央協會名義の買上傳票を交付します。

#### 滿蒙開拓

##### 青少年義勇軍

##### 幹部を急募す

五、買上日時及場所 買上實施の日時及場所は決定の上(別途通牒する)出張買上を行います。

六、供出方法 現品は原則として各所有者に於て買上場所に持参賣却するものとし、地方の實情に依つては町村等に於て取纏めの上一括賣却の斡旋を致します。一括賣却の斡旋は左の方法に依つて行ひます。

△申込 奈良縣地方課  
△其他 應募手續、待遇等詳細、地方課折務係に照會のこと  
新聞の新規  
購讀希望者へ  
新聞は決戦下に於ける最も力強い啓蒙宣傳の機關でありますので政府に於かれまして用紙の極めて不自由な中にも拘らず最低限度の發行維持に努めて居られるのです、斯様なわけで新聞の新たな購讀の無理なことも已むを得ないのであります幸ひにも奈良日々新聞は従来から用紙の繰越を多少もつて居りますので、最近疎開されたり移轉されたりした方やその他の事情で新たに購讀申込をしても駄目だと思ひこんで居られる向が相當多い様に見受けられますのでそれ等お困りの方は最寄の販賣店へ申込んでいただければ御利用願へるかと思ひますので幾分でも決戦生活の心の糧としていただきます様御知らせ致します  
(特 高 課)

# 大和の隣組

號月二十

昭和十一年十一月廿八日印刷  
昭和十九年十二月一日發行

部	定價
發行所	秀
編輯所	岡田 信太郎
印刷所	吉村 印刷所
發行所	奈良縣地方課
印刷所	奈良縣地方課

### 目次

- △神 勅
- △驕米の鼻ツ柱を粉碎せよ
- △十二月の常會徹底事項
- △サア蓄の書入れ時
- △金屬製品家庭等回收について
- △國民勤勞動員援護記事
- △銀回收記事

## 驕米の鼻ツ柱を粉碎せよ

レイテ島にさりついた驕慢なる米鬼を繞つて、凄烈なる一大決戦は、今正にフィリッピンの天空を掩ふて、展開されてゐる。

思へば長い隠忍の日であつた。ガダルカナル島轉進以來、二年有餘、アツツ、マキン、タラウ、サイバン、テニヤン、大宮と太平洋の戦局我に利せず、幾度か熱涙を呑み、幾度か天を仰いで慟哭したことにあらう。

しかし戰勢轉換の神機はいたる。レイテに於ける決戦こそ、太平洋全戦局の運命を支配するもの、今度こいふ今度こそは、何が何でも驕慢極まる米鬼の鼻ツ柱を叩きつけて、一人残さず海底の藻屑になさねばならぬ。

さるにても、忠烈萬世に燦たる、あの神風特別攻撃隊の公表は、何さいふ大なる波瀾を、一億國民の上に、否全世界に與へたことであらう。爆彈抱いた若鷲の敵艦めがけて、まつしぐら、激突し行く尊嚴崇高なるその姿、神の姿でなくて何であらう。

神の國に培はれた『日本精神』の權化であり、その攻撃こそ、純日本の戰術の極致である。

私達は茲に、『神風』の姿をばつきり見つけよう。そして唯一念、神州の『不滅』、『必勝』を信じつ、爆彈抱いて突入して行つた、あの神鷲に應ふるの道、その道をしっかりと歩まう。

斯う考へるべき私達には、そこに現在の生活に何の不自由があらう、軍需生産の上に、食糧増産乃至供出の上に、國民貯蓄増強の上に、木材炭炭増産の上に、輸送力強化の上に、其他凡てに何の隘路があらう。

四回目的『十二月八日』は來た。さあ大いに頑張らう。

豐葦原の千五百秋の  
瑞穂の國は是れ吾が  
子孫の王たるべき地  
なり宜しく爾皇孫就  
きて治せ行矣寶祚の  
隆えまさむここ當に  
天壤と窮りなかるべ  
し

# 「一億の憤激で勝ちぬかう」

戦局は正に皇國の興廢を決する眞の決戦段階に突入しつゝ、茲に聖戰第三周年記念日を迎へます。壯烈きはまりない皇軍將士の奮戦によつて、赫々たる戦果は擧つてゐますが、物量に驕る敵は叩かれても叩かれても必死の反攻を續け、決戦に次ぐ決戦の眞只中です。

今こそ一億の憤激を必勝増産の一點に打ちこみ、飛行機をはじめ、あらゆる兵器をぞし／＼と第一線に送りませう。神風特別攻撃隊を始め幾多の體當り勇士の擧げた戦果を眞に生かすのは今です。「飛行機を送れ」と叫びつゝ、護國の人柱となられた勇士の英魂に應へるのは今です。

## イ、「一億の憤激を軍需増産に」

必死必中の體當りに應へて精魂こめた立派な兵器を作りませう。今日の決戦に間に合せるため、軍需品の生産や輸送に當る人々は體當り精神でこの年末も職場で頭張りぬきませう。

## ロ、「一億の憤激を食糧増産に」

食糧の確保は勝ちぬぐために是が非でも必要です。農山漁村では一層食糧増産の決意を固め、特に農村では麥の手入れと堆肥の増産に全力を注ぎませう。

## ハ、「一億の憤激を國土防衛に」

敵は空襲によつて統後の混亂を狙つてゐます。防空の備へをいよく眞剣に固め、訓練も形式に流れず實戰即應の心構へで得心のゆくまで行ひませう。

## ニ、「一億の憤激を決戦生活に」

一億戦友愛で結び合ひ道義心を高め、創意工夫を生かして物の消費をきりつめ、また日常生活を通じて強健な身體に鍛へあげ、決戦生活を正しく明るい生活にしませう。

## ホ、「一億の憤激を追撃貯蓄に」

決戦貯蓄は四百十億圓に追加されました。一層勤勞にはげま間に合せを實踐し、年末の臨時収入は貯蓄にふり向け、現金は出来るだけ手寄せぬやうにしませう。

### 附記

この常會は今年最終の常會です。一年間の常會を深く反省し、更に一層の御奉公にはげみませう。

# 十二月の常會徹底事項

## サア貯蓄の書入時

### 一 三億四千萬圓貯蓄必成特別運動

十二月は貯蓄の書入れ月である。貯蓄一年の運命が、凡そこの月の成果で左右される。眞にレイテ島に於ける彼我の決戦にも似てゐる。今年度は年度半に目標が八千萬圓増額され、さなきだに例年に倍する努力が必要であるのに、それにも拘らず、今までの貯蓄の足ざり、餘り決戦調子は言ひにくい様に見受けらる。そこでこの頽勢を大いに挽回して、毎年の様な貯蓄戦果を擧げよう。十一月十五日から十二月末日迄「三億四千萬圓貯蓄必成特別運動」を展開される。

#### 縣民各位！

今我々のこの戦列から落伍しては、一機一艦、生命を引替へる戦果を擧げて下さつた、前線の將兵に對して申譯けが立たぬのである。つらい時もあらうが、これが我々の戦である。これを充分認識して與へられた目標以上の貯蓄達成に邁進して頂きたい。

三億四千萬圓貯蓄必成強調運動  
徹底事項  
一、部落常會、町内常會を通じて左記の徹底を圖る。二、貯蓄は我々の戦ひである。

- 一、萬一悪性インフレーションが起れば飛行機の増産は出来ないこと、なる
- 二、貯蓄圖案が成功せねば我々の任務はもつこ、もつこ苦しいものなること。
- 三、貯蓄は御奉公であること。時に自身の財産を造るものであること。
- 四、現金を手許に置くことは最も危険で、不利であること。餘計な物を買ふ、火災や非常の時に減失する。利息も附かぬ。空襲等非常の場合に預貯金は最も安全である。
- 五、金を使ふことは物を消費することである。物を消費することは、それだけ戦力を削ぐことなること。

### 二、指導者層の奮起

市町村長は勿論、部落會長、町内會長、隣組長等は、増産や供出同時に、資金の面の重要さを認識し大いに努力すること。

三、隣保共同責任制の確立  
市町村、部落會、町内會等は、その全員で全體の目標を達成する様渾身の努力を拂ふこと。

之が爲先づ個人目標を最も應能的にして充分徹底せしむること。力のある人は目標以上の貯蓄を實行すること。

- 四、業域貯蓄の勵行  
新興階層と言はれる勞務者の貯蓄を安全に爲さしめること。之等は勞務で行ふと共に、地域でも適當の適正方を考慮すること。
- 五、國債貯金の勵行  
十月以來隣保制當は國債貯金一本建になつてゐるが、十二月に於ても、目標額を一日も早く完全に實行すること。
- 六、内職副業の勵行  
特に市梅地婦人は内職副業に勵み貯蓄源の造成を圖ること。
- 七、手持現金の貯蓄  
十二月八日を期して、手持現金を出来るだけ思ひ／＼の貯蓄にすること。十二月末には手持の現金は一應全部貯蓄にすること。
- 八、職域貯蓄の勵行  
官公署や會社工場等職域では年末賞與を規定の率以上貯蓄すること。
- 九、福券、割増定期預金の普及  
手持現金を以て割増金附定期預金をすること。勞務者や工場方面では、福券を購入すること。(地方課)

## 家庭等金屬製品の回収

戦局の重大化に伴ひ、航空機の増産其の他戦力の緊急増産に必要なアルミニウム、鐵鋼、銅、鉛、錫などの確保を圖るため、家庭に残存してゐる金屬製品を回収が實施されることになりました。から擧つて供出して戴き第一線に飛行機又は武器彈薬として送つて下さる様切望致します。

○そうして實施の系統は即ち縣統轄の下に營業用品(廢品を除く以下同じ)に付ては業者團體に於て、家庭用品に付ては市町村に於て町内會、部落會、隣組を指導して實施することになります。

○回収物件の範圍は本回収一般家庭(神社、寺院、教會等を含む)に保有するアルミニウム製品(アルマイト製品を含む)鐵鋼製品、銅製品、鉛製品、アンチモン製品、錫製品其の他廣く金屬製品に付ての廢品又は不要不急のもの(性質上必要でないもの、及必需品であつても餘剰のもの)を主たる對象とするものでありまして

1 家庭用品の回収に付ては特に家庭の決戦生活に於て眞に必

要な最低量の器具を除いて其の他悉く供出してもらひたいのであります。

2 營業用品の回収に付ては營業上に必要な最少限度を除いた他は全部供出してもらひたいのであります。

○回収期間は十一月より十二月二十日迄であります。

○本回収では代替品は考慮して居りません。

○回収物件に對しては左の基準に依つて價格を算出して原則として持ち寄り、當日集積場に於て金屬回収統制株式會社から隣組又は部落會町内會等の代表者に對し一括して現金で支拂ひ、供出者は右代表者からそれ／＼配分することになります。

アルミニウム(アルマイトを含む)  
一貫 金十五圓  
鐵  
一貫 金二圓  
銅及銅合金  
一貫 金二十圓  
鉛、アンチモン及之等の合金  
一貫 金二十圓  
錫及錫合金  
一貫 金五十圓  
其の他  
一貫 金二十圓  
但し(五錢未満切捨て六錢以上十錢未満は五錢とする)

○献納物件に付ては右價格を以て縣に於て總金額を一括献納するの原則とします。